

○文化財写真過程 平成5年8月17日～9月9日
兼田 芳宏 猪苗代町教育委員会

ウ 特別研修

○埋蔵文化財基礎過程 平成5年5月27日～6月4日
阿部 和徳 福島市教育委員会
松野 雪子 国見町教育委員会

○鑄造遺跡調査過程 平成6年2月3日～2月8日
高荒 淳 (財)福島市振興公社
能登谷宜康 (財)福島県文化センター

○城郭調査過程 平成6年2月15日～2月21日
佐藤 重幸 (財)郡山市発掘調査事業団

(5) 埋蔵文化財保護普及活動

埋蔵文化財調査報告書の刊行

- ① 母畑地区遺跡分布調査報告 18
- ② 田畑地区遺跡発掘調査報告 32・33
- ③ 三春ダム関連遺跡発掘調査報告 7
- ④ 東北横断自動車道遺跡調査報告 19・20・21・22・
23・24・25
- ⑤ 原町火力発電所関連遺跡調査報告 IV
- ⑥ 請戸川地区遺跡発掘調査報告 II
- ⑦ 関和久上町遺跡
- ⑧ 東北縦貫自動車道遺跡予備調査報告

⑨ 常磐自動車道遺跡分布調査報告 3

(6) 埋蔵文化財周知事業

平成3年度から平成7年度までの5か年の計画で、県下全域を対象に、より詳細な分布調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の実態をより正確に把握し、その周知徹底を図るとともに、文化財保護の基礎資料として「埋蔵文化財包蔵地分布図」及び「地名表」を整備する。

平成5年度は、会津・相双・いわき地区の調査を実施しおおよそ4,586か所の埋蔵文化財包蔵地を確認し、遺跡台帳等を整備した。

(7) 県内の発掘調査等の状況

発掘調査(試掘調査を含む)の原因別・地区別の通知棟の件数は下表のとおり。

原因では、道路建設・都市計画の区画整理を含む宅地造成、農地開発に関連する土木工事によるものが上位を占める。

また、近年の傾向は大規模開発が増加することにより、工法対応による部分調査で対応し切れずに、全面調査となる遺跡が多く、その結果1遺跡あたりの調査面積が広がってきている。開発件数の増加に加え、面積の拡大もあって、全体として発掘調査料は膨大なものとなっている。

平成5年度発掘調査通知件数

(平成6年3月)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
農業関係 (国・県・団体)		9	1	25			3	38
都市計画等	9	3	3			3	2	20
道路建設	11	25	3	4		9	31	83
河川・ダム・空港	2			4				6
宅地造成等	7	7		5	1	4	2	26
学校建設	2			1				3
その他の建物	10	1		9		4	3	27
電気・ガス・水道	2			1		5		8
ゴルフ場・土取り		4				3		7
その他	5	2	1			2		10
学術調査		3	2	3		3	2	13
計	48	54	10	52	1	33	43	241

発掘調査件数241件の内訳は、県教育委員会が実施したものの42件、市町村教育委員会が実施したものの199件です。なお、事前協議のための試掘調査は、130件です。